

## 研修のねらい

- 情報収集活用・分析の基本を学び、企画力・問題解決能力の基礎固めを図ります。
- 問題解決のための目的把握から分析までの、正しい基本プロセスを習得します。
- 相手(住民・上司等)が求める情報を上手に収集し、表現する手法を体得します。

職員減少時代の地方自治体において、全職員が貴重な経営資源です。しかし、職務に慣れるにつれ、業務遂行方法もマンネリ化しやすく、目の前の事象に対する問題意識が希薄になりやすい傾向にあります。

この研修では、「自らの情報収集・分析業務」を改めて見直し、「行政課題発見、分析、改善のための情報収集・分析」技術を身に付けることにより、自治体職員として必要な「企画提案力、分析力」を磨いていきます。

また、相手(住民・上司等)の立場に立ち、誤解がなく活用しやすい情報のアウトプットを実践的に学び、日常業務で即活用できるよう、身近な事例を用いて実践演習を重ねます。(テクニカルな統計・データ分析等については扱いません。)あわせて、日常的に問題意識を持ち、主体的に業務を遂行する意識も醸成していきます。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

	1日目	2日目
午前	1. 情報収集・分析の基本視点 (1) そもそも分析が必要な理由 (2) 情報収集・分析の正しいステップ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">◇ エクササイズ ◇</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">◇ 個人ワーク・グループ討議 ◇</div> 2. 目的を押さえる (1) 目的意識と相手意識 (2) 課題の絞り込み <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">◇ 個人ワーク・グループ共有・討議 ◇</div> 3. 仮説を立てる (1) 仮説の必要性、重要性 (2) 手持ちの情報で仮説を立てる ～フェルミ推定～ (3) 仮説を立てるための材料を洗い出す <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">◇ 事例研究・グループ共有・討議 ◇</div>	5. 目的につながる分析、解釈をする (1) 分析と解釈とは (2) 定量分析と定性分析 (3) 定性的分析の実践(フレームワーク活用) ～自らの自治体のSWOT分析～ →「機会」「脅威」の抽出 →上記と「強み」「弱み」を掛け合わせた戦略策定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">◇ エクササイズ・グループ討議 ◇</div>
午後	4. 適切な情報収集をする (1) 情報収集とは (2) 情報の入手 ・情報収集の落とし穴 ・不適切な質問文 (3) 統計とは (4) 統計の見方 ・用語の定義や計算法を 確認、把握する ・出典を当てる (5) 情報を見極める (6) 情報を選ぶ (7) データの見方 (8) フレームワークを使って 情報収集をする (9) ピックデータについて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">◇ 事例研究・グループ討議 ◇</div>	6. 分かりやすく表現する (1) 視覚化のセオリー (2) グラフは言語 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">◇ グループ共有・討議 ◇</div> 7. 総合演習と発表 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">◇ グループ討議・全体発表 ◇</div> 8. 総まとめとコミットメント (1) 研修の学びと現場活用を考える ～PREP法を用いて～ (2) グループ内コミットメント